

## 船舶事故調査報告書

平成23年2月3日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	浸水
発生日時	平成22年3月14日 11時00分ごろ
発生場所	千葉県鴨川市浜荻港沖 浜荻港防波堤灯台から真方位143°410m付近 （概位 北緯35°06.9′ 東経140°08.7′）
事故調査の経過	平成22年3月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>てんきゅう</sup> 天救丸 船舶番号なし（無検査船）、天津小湊漁業協同組合 約5m×約1.6m×約0.5m、FRP ガソリン機関、約11kW
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年3月7日 免許証交付日 平成22年3月9日 （平成27年4月10日まで有効） 甲板員 男性 62歳
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機が濡損
事故の経過	本船は、船長及び甲板員1人が乗り組み、浜荻漁港防波堤を通過して南東進中、平成22年3月14日11時00分ごろ、船首から波の打ち込みが激しくなり水船状態となった。 船長及び甲板員は、離船して海岸に向けて泳いでいたところ、後方を泳いでいた船長が突然見えなくなった。 甲板員は海岸に泳ぎ着き、船長は、同日11時50分ごろ、僚船によって発見されて病院に搬送されたが、死亡が確認され、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風力 4、視界 良好、気温 約12℃ 海象：海水温度 約14℃、波浪 不明
その他の事項	本船は、一層甲板の和船型の船であった。 本船は、当日、ひじき約250kgを積載しており、喫水が船首尾とも約25cmであった。 甲板員は、波浪が約0.1mであったと口述したが、気象庁沿岸波浪図によると、平成22年3月14日09時の房総半島沿岸では約2mであっ

	<p>た。</p> <p>本船は、浜荻漁港防波堤を通過後、速力約2ノットで航行していた。 船長及び甲板員は、いずれも救命胴衣を着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>不明</p> <p>あり</p> <p>本船は、積荷により乾舷が低下した状況下、浜荻漁港防波堤を通過して南東進中、波浪を受け、また、ピッチングしていたことにより、船首から波が打ち込み、水船状態となったものと考えられる。</p> <p>波浪は、本事故当時、約0.1m以上あった可能性があると考えられる。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していれば、救助された可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、積荷により乾舷が低下した状況下、浜荻漁港防波堤を通過して南東進中、波浪を受け、また、ピッチングしていたことにより、船首から波が打ち込んだため、水船状態となったことにより発生したものと考えられる。</p>	